


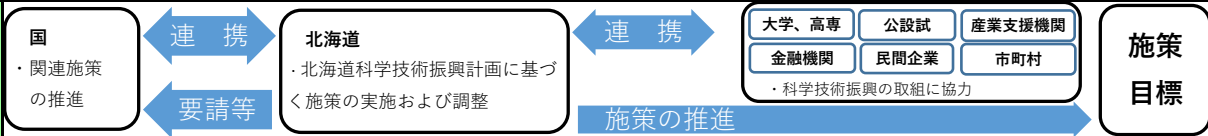


<b>令和3年度 基本評価調書①</b>		所管部局	総合政策部	所管課	科学技術振興課	
施策名	健康・医療分野に係る科学技術の振興			施策コード	05131	
政策体系(中項目)	新たな成長産業への挑戦や研究開発の推進			政策体系コード	2(4)A	
知事公約	C0053, C0100	総合戦略	A3451, A3452, A3754	国土強靱化	-	事務事業数 1
SDGs	  			総合判定	順調	

**【1 Plan】**

施策目標	本道の特性を活かした研究開発や研究成果の移転促進等のため、産学官金等の協働や、研究開発拠点の形成などを推進するほか、科学技術に親しむ機会の提供、科学技術・産業の発展などを担う人材の育成・確保、新事業、新産業の創出に結び付く知的財産の戦略的な創造・保護・活用を推進。					
現状と課題	道では、国の大型プロジェクトを活用した研究開発拠点の形成や研究開発機能の充実など、科学技術の振興に取り組んでおり、産業の振興を一層図るため、産学官金等が連携しつつ、大学を核とした研究開発拠点の形成や、地域の強みを活かした新技術・新商品の創出などを進める必要がある。					
主な取組	・北海道科学技術振興計画に基づく施策の実施および調整					
予算額(千円)	R 3	27,955	R 2	27,955	R 1	27,955
施策のイメージ						

**〈成果指標の達成状況〉 ⇒ 3つ以外の指標は、補助指標調書に記載**

指標名①	増加	件	H29年度	H30年度	R元年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
産学官の共同研究の件数	目標値		1,333	1,357	1,374	1,700	112.9%	A
	実績値		1,428	1,543	1,551	-		
設定理由	総合計画における政策の方向性「本道の活性化に役立つ科学技術の振興」中の産学官の協働状況を測る指標として設定。							
<b>分析（主な取組と成果）</b>								
科学技術振興推進事業費補助金による産学官が連携して行う、北海道内での事業化に向けた先導的な技術シーズ創出を目指す研究や産学の協同研究成果等を活用して北海道内での事業化を目指す研究を支援することにより、協働に向けた機運醸成が図られてきており、目標値を達成。健康・医療分野に係る科学技術の振興のさらなる推進のため、引き続き産学官等の関係機関の連携強化と、協働を推進していくことが重要であると考え。								

指標名②			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
<b>分析（主な取組と成果）</b>								

指標名③			R元年度	R2年度	R3年度	最終目標	達成率	指標判定
	目標値							
	実績値							
設定理由								
<b>分析（主な取組と成果）</b>								

令和3年度 基本評価調書②	施策名	健康・医療分野に係る科学技術の振興	施策コード	05131
---------------	-----	-------------------	-------	-------

【2 Do&Check】

成果指標	指標名	前々年度	前年度	評価年度	評価年度目標値	指標判定
	産学官の共同研究の件数	1,428	1,543	1,551	1,374	A
目標(指標)の達成状況	健康・医療分野に係る科学技術の振興の前提となる、産学官の共同研究件数は、協働に向けた機運醸成が図られてきたことにより、各年度の目標を上回り順調に伸びている。				指標総合判定	A
連携状況	大学やその他の試験研究機関に対してはノーステック財団が行うイノベーション創出研究支援事業などを通じて、道内における産学官による共同研究や事業化を支援している。				連携判定	○
緊急性優先性	「北海道科学技術審議会」や地域の有識者から意見を聴取する「地域懇談会」の開催を通じて道民ニーズの把握に努めており、把握したニーズを踏まえ、産学官等の協働などを推進している。				緊急性優先性判定	○
総合判定の根拠	産学官連携による健康分野などの研究開発は順調に進んでおり、引き続き健康・医療分野に係る科学技術の振興を進める。				総合判定(一次評価)	順調

翌年度に向けた対応方針	対応方針番号	内容
	①	共同研究による成果を発揮できるよう産学官の共同研究を推進するとともに、北海道内の8の大学・国立研究機関と連携しながら社会問題の解決を図る「チャレンジフィールド北海道」の取組で、今年度から健康分野研究を行う。
②		
③		

〈二次政策評価〉

前年度二次評価意見	対応状況(R3.3時点)
R3年度二次政策評価	

【3 Action】

二次政策評価への対応	
R4施策の方向性	○共同研究による成果を発揮できるよう産学官の共同研究を推進するとともに、北海道内の8の大学・国立研究機関と連携しながら社会問題の解決を図る「チャレンジフィールド北海道」、北大などの産学官連携により実施する「共創の場形成支援事業」において、健康・医療に関する研究開発を推進する。